

令和元年度

決算報告

令和元年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。

昨年度の歳出は、一般会計約42億円、特別会計約27億円、水道事業会計約4億円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約73億円で様々なまちづくりが進められました。

一般会計歳入

歳入決算総額は45億4,583万円で、前年度と比べて3億1,500万円、6.2%の減少となりました。

減少となった主な要因は、越生駅東口開設事業の終了に伴い、国庫補助金や町債などの収入が減ったことによるものです。

町税は、13億4,211万円で、前年度と比べて806万円、0.6%の増加

となりました。町民税、固定資産税、軽自動車税及び町たばこ税のすべての税が増加したことによるものです。

地方交付税は、12億893万円で、前年度と比べて3,545万円、3.0%の増加となりました。

町債は、臨時財政対策債のほか、台風第19号による災害復旧工事、防災行政無線デジタル化工事及び越生消防団第3分団詰所新築工事のための借入れを行いました。3億1,292万円となりました。

一般会計歳出

歳出決算総額は、42億3,098万円で、前年度と比べて2億4,964万円、5.6%の減少となりました。

減少となった主な要因は、

越生駅東西自由通路整備や越生駅東口駅前広場整備などの終了に伴い、土木費の支出が減ったことによるものです。

なお、歳入総額45億4,583万円と歳出総額42億3,098万円の差額3億1,485万円は令和2年度へ繰り越しました。

目的別の主な事業

総務費 ○防災行政無線のデジタル化工事を行いました。

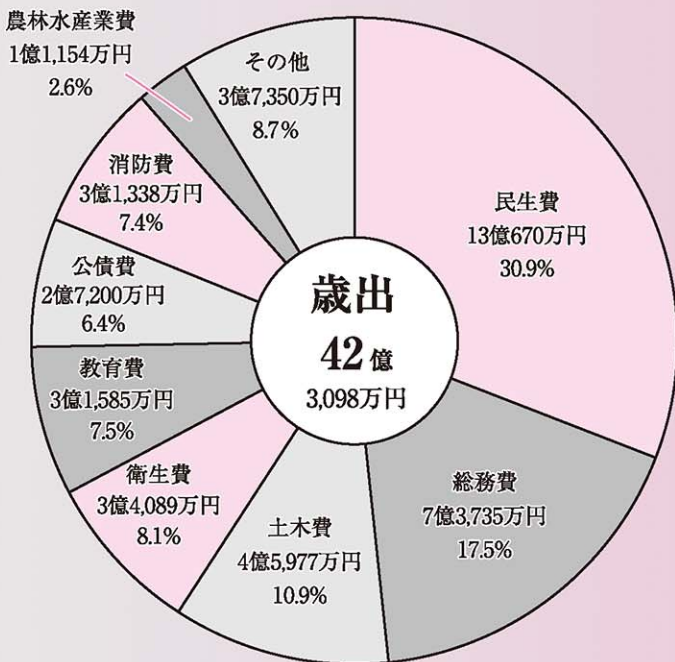
○町の魅力発信を目的にプロモーション動画と移住ガイドブックを作成しました。

○台風第19号の対策を目的に災害対策本部を設置し、避難等の災害対応を行いました。

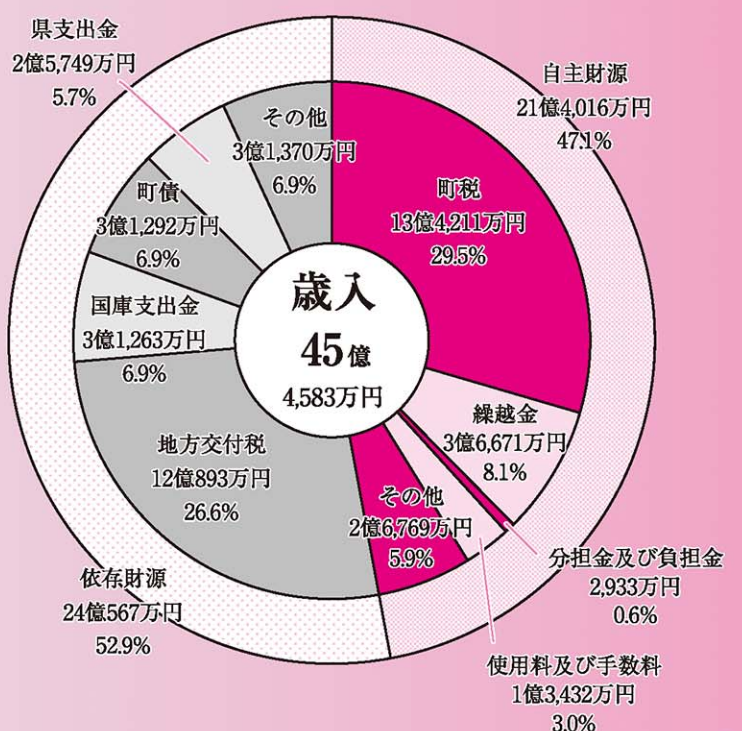
民生費 ○10月からの消費税引上げに伴う経済対策として、プレミアム付商品券を発行しました。

○子育て支援策として、こどもの医療費支給事業、チャイルドシート購入補助事業、誕生祝い品支給

歳出の状況



歳入の状況



事業などを行いました。
衛生費 ○住民の健康管理を支援する健康増進事業

や子育て世代包括支援センターを中心に妊娠前から子育て期までの支援事業などを実施しました。

○ハイキングのまちおこせ健康長寿プロジェクト、健康づくりマイレージ事業などを進め、健康づくりに取り組みました

○自然豊かな花木墓苑を基本とした町営樹木葬墓苑「五大尊花木墓苑」を開園しました。

農林水産業費 ○梅・ゆずなどの特産物を周知するとともに、地産地消を推進するための事業を実施しました。

○新たに森林環境譲与税を活用し、林地台帳システムを導入し、森林環境譲与税基金を設立しました。

商工費 ○各種ハイキング大会を開催したほか、ハイキングコースの整備・充実に努め、ハイキングのまちづくりを進めました。

○商工会事業に対して補助

金を交付し、商工業の振興を図りました。

土木費 ○町道31102号線舗装打換工事や西和田字福石地内道水路整備工事など生活環境の整備を行いました。

○町営上野第2住宅の給水管・ガスの更新工事及び町営上野第3住宅の屋上防水改修工事を行いました。

消防費 ○越生消防団第3分団詰所の新築工事を実施しました。

教育費 ○越生町教育振興基本計画に基づき、児童・生徒の教育力向上や生涯学習を推進しました。

○小学校では、子ども議会を開催したほか、行事や校外学習を合同で実施して、交流を図りました。

災害復旧費 ○台風第19号による被災箇所への復旧工等を行いました。

今後、活力ある越生を創るために魅力あるまちづくりと住民福祉の向上のための施策を進めてまいります。

会計別決算

	歳入	歳出	差引額
総 額	76億7,519万円	73億4,492万円	3億3,027万円
一般会計	45億4,583万円	42億3,098万円	3億1,485万円
特別会計	28億1,436万円	27億4,376万円	7,060万円
公平委員会特別会計	24万円	18万円	6万円
農業集落排水事業特別会計	2,925万円	2,775万円	150万円
国民健康保険特別会計	15億814万円	14億8,414万円	2,400万円
介護保険事業特別会計	11億2,337万円	10億8,272万円	4,065万円
後期高齢者医療特別会計	1億5,336万円	1億4,897万円	439万円
水道事業会計	収益的収支	3億1,500万円	2億8,683万円
	資本的収支	0万円	8,335万円
			▲8,335万円

水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額8335万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

健全化判断比率等

令和元年度決算に基づき、財政健全化に関する比率を算出しましたのでお知らせします。

健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれの指標も早期（経営）健全化基準を下回り、健全性を示しています。しかし、他の指標である経常収支比率は94.3%で依然として高い数値にあり、財政の硬直化が懸念されます。

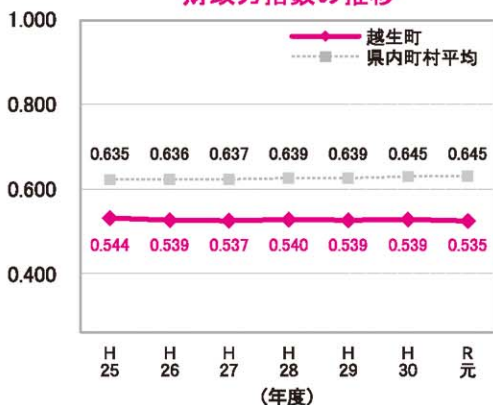
健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
越生町	-	-	3.7	9.0
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

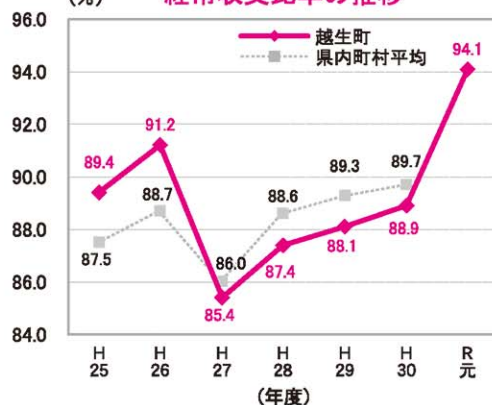
資金不足比率

特別会計名称	資金不足比率	特別会計名称	資金不足比率
農業集落排水事業会計	-	水道事業会計	-
経営健全化基準	20.0	経営健全化基準	20.0

財政力指数の推移



経常収支比率の推移



また、1.000に近いほど財政に余裕があることを示す財政力指数は、0.535と低水準にあり、厳しい財政状況が続いています。